

高校 2 年 修学旅行(in 台湾)

10月21日(水)から24日(土)まで、高校2年生154名が修学旅行で台湾を訪れました。直前の気象予報では、「フィリピンに大雨をもたらした台風が、21日に台湾に接近、その後2日ほど停滞した後、24日に去っていく…」という絶望的な情報もたらされていました。しかし、2年生はよほど日頃の行いが良いのか、それとも強烈な晴れ男(もしくは女)がいるのか、台風は勢力を弱め、風は微風で雨もほとんど降らないという、台湾としてはあまりにも好条件のもとで修学旅行を満喫することができました。生徒の声も交えながら、台湾での4日間を振り返ります。

台湾に向けて出発



1 日目

台湾に到着すると、日本語が話せる現地ガイドさんに案内されながら、バスで九份に向かいました。九份は『千と千尋の神隠し』のモデルにもなったといわれる鉱山の街です。色鮮やかな店、漢字だらけの看板、飛び交う中国語、そして独特の臭い…。**生徒たちは、意欲的に散策し、異国の文化に触れました。**

九份散策



中正紀念堂にて



その後、中正紀念堂と總統府を見学し、民芸品店で買い物をして夕食へ。台湾料理と言えば「八角」と呼ばれる香辛料がつきものですが、**生徒たちは果敢にチャレンジしていました。**ホテルに着くとその後は自由時間。コンビニなどに出かけて、**積極的に店員さんとやりとりをする生徒が多くいました。**

2 日目

午前中は六和高級中學へ。毎年レベルアップしているのでは?と思うほどの大歓迎の中、まずは全体会。両校の紹介の後、

Perfume(?)



お菓子作り体験



授業体験



佐高代表者はキレキレのダンスを披露しました。その後グループにわかれて交流会に参加しました。内容は台湾のおやつ作り、台湾のゲーム体験、人気の音楽紹介など色々です。数名の生徒は授業に参加し、台湾の学校生活を実体験しました。**日本と異なる授業の進度や方法に衝撃を受けた様子です。**最後は全員で記念撮影。来年日本に来てくれた際はどんな歓迎をするか、今から考えないといけませんね。

六和高級中での交流会を通して、多くの違いを感じることができました。真っ先に感じたのはフレンドリーさ(積極性)で、ものすごい数の学生が明るく歓迎してくれる様子は私たちも見習わなければならないと思いました。また、意識レベルの高さも感じました。流暢な英語で台湾を紹介してくれた女の子は、高校を卒業したら日本語を学びたいと話しており、英語のその先の言語まで目標としていました。英語だけに苦戦して留まっている自分が実に情けなくなったのと同時に英語を早くマスターしようという意欲ももらうことができました。《1組 金子智佳》

午後は忠烈祠で衛兵の交代式を見学。統率のとれた動きにみんな息を吞みます。その後、故宮博物院を訪れました。とにかくすごい数の人。ほと

私は、六和中の授業を体験しました。1限目の数学では、中学3年生で既に三角比を学んでいて驚かされました。2限目の物理は少し変わっていて、グループに分かれて、興味のある身近な物理現象について調べ発表するというものでした。海外の中高生が、どのような内容の授業を、どのような雰囲気、態度で受けているのかを肌で感じる事ができ、とても良い経験になりました。《3組 矢菅晋太郎》

んどが大陸からの観光客だとか。生徒たちは、ガイドさんの案内のもと館内を進みます。**数々の至宝に触れ、中国文明の偉大さを実感したでしょうか。**

衛兵交代式(?)



今回の修学旅行で一番強く感じたことは、語学力の差です。どこの店に入っても、どこを見学しても、店員さんや一般の方が日本語や英語を流暢に話していました。また、六和高級中学の生徒も当たり前のように英語で話しかけてくれました。彼らには語彙力だけではなく、その国の文化への深い探究心があると感じました。将来、私たちが真の国際人として活躍するためには、各々が高い語学力を身につけ、その国への理解を深めて、彼らを越えていく必要があります。これからは、その覚悟を持って学ばなければならないと身にしみて感じました。《4組 平岩未佑》

3泊4日の台湾修学旅行で、最も良い思い出となったのが故宮博物院見学です。ここには、中国の人々が大挙して押し寄せるほどの宝物が展示されています。私は最初、人の多さに辟易してしまいました。しかし、現地のガイドさんの熱血実況解説を聞きながら展示を見て回るうちに気分が変わってきました。なぜこの場所にこれほど多くの人が集うのか、その理由が分かりました。「知識」を持たずに見れば、それらはただの陳列されたガラクトに等しいのかも知れませんが、「知識」を持って目を向けると、そこには中国四千年の歴史が存在するのです。学校で勉強した世界史の先にある、実際の歴史の姿に触れることができ、積み重なった歴史が現在の世界を築き上げていることを知りました。グローバルな人材になるには、先人の残した遺産に目を向けることも必要です。とても素晴らしい体験になりました。後輩たちにもぜひ楽しんでもらいたいです。《2組 山田菜々子》

3日目

この日は、現地の大学生チューターとともに自由行動です。自己紹介を済ませ、いざ出発。自分たちで考えたコースを巡ります。**チューターさんとの会話はほぼ英語、ということで、コミュニケーションに苦勞しながらも、そこは持ち前の英語力と柔軟性、行動力、そして気合いで乗り切り、充実した1日を過ごせたようです。**最後は班員全員で記念写真を撮りチューターさんとはお別れですが、名残惜しそうにしていた生徒たちの表情が印象的でした。**国籍は違っても、親しい人との別れを惜しむ気持ちに違いはないのですね。**

夕食後はホテルで帰国の準備。さすがにみんな疲れた表情ですが、それでもとき

きと準備を終えて夜の台北に繰り出しました。

最後の最後

まで台湾を満喫しようとするエネルギーには脱帽。「国際人として活躍する真のリーダー」には体力も重要です。

思い出いに記念撮影①



思い出いに記念撮影②



思い出いに記念撮影③



チューターさんと①



チューターさんと②



チューターさんと③



4日目

この日の起床は4時。過酷な時間設定にも関わらず、全員無事に集合できました。空港へ向かうバスでは、4日間お世話になったガイドさんと最後の挨拶です。**台湾は親日の国と言われますが、ガイドさんたちを見てると、本当にそう思います。**今度は日本にも来て下さいね。松山空港では、さらにお土産を買い足す生徒の姿が。**佐高生、本当によく動きます。飛行機に乗ると、久しぶりの日本食が出てきました。みんな無性に感激。**食事が終わると早起きと旅の疲れもあってか、熟睡していました。

羽田空港につくと、荷物の受け取り、入国審査、そして解散式。**出発時は空港でオロオロしていた佐高生の姿はどこへやら。堂々と空港内を動き回ります。**もう飛行機はへっちゃら(?)。この数日間で「国際人として活躍する真のリーダー」に大きく近づいてくれたかな。

午後4時頃、無事に栃木に戻ってきました。迎えに来てくださった保護者を見つけて、さすがにほっとした表情を浮かべる生徒たち。それ以上にほっとした表情の保護者の方々。**生徒の皆さん、多くの人たちに支えられて、今回の修学旅行に行くことができたのだということを、忘れてはいけません。本当にお疲れ様。今回の経験を、今後の学校生活に、人生に活かして下さい。**(文:第2学年担任)

羽田空港にて解散式

